

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol. 39

文・写真◎新保 剛

2010年のワールドカップ開幕まで、ついにあと30日。

開催国の南アでの観戦を予定している人は、
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう！

ワールドカップまで1カ月となった。今回は日本から南アに持ち込む荷物の注意点を紹介しよう。カメラ、ビデオ、パソコンなどは、中目品であっても課税対象となる。そう、自分で使うために持ち込んだものにも関税がかかるのだ。到着後の税関検査でチェックされた場合には現金で払うしかない。ただ、払った税額は、出国時に税関で持ち出し手続きをすると払い戻してくれる。品物と書類はなくさないように。

出発地の免税品店や機内で購入したチヨコレートや貴金属類も課税対象だ。「免税では？」と疑問に思う方がいるだろう。購入した場所では免税なのだが、南アに入るときに課税されてしまう。南アの関税法の対象物品は日本よりも幅広い。南ア入国前に免税品は買わない方が無難だ。

そうは言っても、南アに知り合いがいれば、お土産を持参したくなる。日本食などは喜ばれそうだが、こちらは検疫の対象となる。ヨハネスブルグの空港検疫は最近

●「自分のカメラにも関税がかかります」●



▲季節が逆の南アは紅葉シーズン。日本人学校の校庭ではこいのぼりと紅葉の不思議な光景が



▲ヨハネスブルグのサントン地区には歴代ボールの巨大なオブジェが登場。これはジャブラニ

厳しくて、食物探知犬が荷物検査場を嗅ぎ回っている。麻薬探知犬とは違い小型でかわいい犬なのだが、食物の匂いを嗅ぎつけられると、検疫を受けることになる。カップラーメンでも、動物由来の食品が入っている場合には没収の対象だ。梅干しなど南アの検疫担当官になじみのない食物は没収される危険がある。ちなみに、南ア国内の中国食材店では梅干しや納豆、カップラーメンが売っているの、無理して持ち込むことはない。

現金。筆者は以前、海外旅行には100万円以上携帯するという現金至上主義の旅行者に会ったことがあるが、この額は税関申告を必要とする。これは日本も南アも同じで、無申告の場合には没収される。南アではクレジットカードもよく使われるし、そもそも強盗に遭う危険が高いので、多額の現金を持参することは勧めない。10万円くらいで十分だ。日本円は空港や市中の銀行などで両替できる。

著者プロフィール◎一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html